

<ご参考資料>

2008年4月23日  
博報堂

**博報堂、イベント業務におけるカーボンオフセットサービス開始  
～排出権を活用した日本での広告業界初の取組み～**

博報堂は、この度日本の広告会社では初めて国連CDM事業<sup>※</sup>の排出権を取得し、これを活用して当社が請け負うイベント業務において排出権取引サービス(カーボンオフセットサービス)を5月中旬より開始することになりましたので、お知らせ致します。

今回博報堂が提供する排出権取引サービスは、博報堂が得意先から受注制作運営するイベントにおいて、生じてしまうCO<sub>2</sub>の削減のためのアドバイスと、削減しきれない分についてのカーボンオフセットを実施するものです。

本サービスを活用することにより、得意先が自らイベントごとに小口での排出権を購入されることなく、排出権購入を実施することが可能となります。なお、当社が受注するイベントにおけるカーボンオフセットの実施については、強制するものではなく、得意先の判断によるものです。

博報堂が保有する排出権は、当社が得意先に代わり日本政府へ無償譲渡(提供)し、京都議定書で定められた日本の温室効果ガス排出削減目標遵守に貢献いたします。

《博報堂の排出権の取得について》

- ・ 購入数量 : 1000トン
- ・ 購入先プロジェクト : インド 風力発電プロジェクト(国連CDM事業)
- ・ 購入時期 : 2008年5月
- ・ 得意先へのサービス開始時期 : 2008年5月中旬～

※ 国連CDM事業とは

「Clean Development Mechanism(クリーン開発メカニズム) = 先進国が途上国で温室効果ガス削減事業に投資し、削減分を目標達成に利用できる制度」において、国連CDM理事会が承認した事業を指します。排出権の取得後環境省・経済産業省が管理する国別登録簿の管理口座で管理できます。

本件に関するお問い合わせ

博報堂	広報室	西尾・大野
		TEL 03-5446-6161
		FAX 03-5446-6166

《排出権取引のイメージ図》

